

<目次>

はじめに	1
第1章 調査の目的と実施方法.....	2
1.1 調査の目的と内容.....	2
1.2 調査対象・方法	2
第2章 背後圏の状況.....	4
2.1 ロシア.....	4
2.1.1 極東経済概況	4
2.1.2 2005年のロシア極東経済.....	5
2.1.3 発展プログラム.....	6
2.1.4 太平洋パイプライン計画の現状.....	6
2.2 中国黒龍江省.....	8
2.2.1 経済概況	8
2.2.2 2005年の東北経済	10
2.2.3 東北振興戦略	11
2.3 ロシア・中国間の国境交通	19
2.3.1 中口貿易	19
2.3.2 ロシア極東の中国人の状況.....	19
2.3.3 ロシア中国間国境交通の状況	19
第3章 沿海地方政府の提案	21
第4章 貨物量旅客量の推定	23
4.1 想定貨物.....	23
4.2 中古車.....	23
4.3 中古建設機械、工作機械、木工機械等.....	28
4.4 高級消費財（電化製品、食材、生活物資、化粧品、薬剤等）.....	29
4.5 大規模プロジェクト関連（太平洋パイプライン事業）.....	30
4.6 木材関連製品.....	32
4.7 鶏肉	33
4.8 ミネラルウォーター	34
4.9 その他可能性のある貨物.....	34
第5章 貨物量の推計.....	37
5.1 青森港フェリー航路が対象とする貨物の考え方.....	37
5.1.1 対象地域の考え方	37
5.1.2 対象貨物の考え方	38

5.2	貨物量の推計	40
5.2.1	日本（輸出）から極東ロシア・黒龍江省（輸入）向け貨物の推計	40
5.2.2	極東ロシア・黒龍江省（輸入）から日本（輸出）向け貨物の推計	43
5.3	青森港フェリーを利用する貨物量のまとめ	53
5.3.1	対象貨物量の推計	53
5.3.2	青森港に就航が見込まれるフェリー航路に必要な貨物量	55
5.3.3	青森港フェリー利用可能量推計結果	56
5.4	旅客流動量の推計	57
第6章 他航路の状況		58
6.1	東春フェリー（韓国・束草～ロシア・ザルビノ/ウラジオストク航路）	58
6.2	東日本海フェリー（稚内～コルサコフ）	60
第7章 航路の採算性		64
7.1	採算性の検討	64
7.1.1	検討の考え方とフロー	64
7.1.2	航路サービス諸元の仮定	64
7.1.3	FESCO の提案	66
7.1.4	年間必要売上額・年間チャーター料の計算	67
7.1.5	コンテナ輸送料金の設定	71
7.1.6	採算上必要な貨物量	73
7.2	採算性の検討結果	74
7.2.1	プロジェクトの採算性	74
7.2.2	事業の収支計算	75
第8章 今後の対応		76
8.1	今後の対応の考え方	76
8.1.1	小樽～ウラジオストク航路（ポスコ）の誘致	77
8.1.2	沿海地方政府との協調	78
8.1.3	トヨタビジネスへの関与	78
8.2	今後の対応を考える上での参考情報	79
第9章 まとめ		84
（参考）青森～ウラジオストクフェリー現地調査面談記録		85